

ラトビア月報

【2024年7月】



2024年（令和6年）7月発行

在ラトビア日本国大使館

<http://www.lv.emb-japan.go.jp/>

主な内容

【政治】

- ・ ドムブロウスキス欧州委員会執行副委員長は欧州議員の権利を放棄
- ・ 欧州議会はズィーレ欧州議会副議長を再選 (P. 1)

【経済】

- ・ ラトヴェネルゴ社は新たなソーラーパークの稼働を開始 (P. 2)

【外交】

- ・ リンケービッチ大統領、ブラジェ外相及びスプルーズ国防相の NATO ワシントン・サミット出席
- ・ ドローン・コアリション共同基金の設立 (P. 4)

【その他】

- ・ リガで月間降水量の145%の大雨 (P. 7)

※「ラトビア月報」は、ラトビアにおける政治・経済状況等について、ラトビア政府発表や各種報道等の公開資料（原則として該当月の月末までの情報）を取りまとめたもので、在ラトビア日本国大使館の見解を述べたものではありません。月別の時事情報として御参照いただければ幸いです。

— 政治 —

【今月の注目記事】

◆ドムブロウスキス欧州委員会執行副委員長は欧州議員の権利を放棄

7月12日、ドムブロウスキス欧州委員会上級副委員長兼貿易担当欧州委員は欧州議員の権利を放棄し、ヴァイデレ現欧州議員が繰り上げ当選した。ドムブロウスキス上級副委員長は6月の選挙で欧州議員に当選していたが、6月11日、ラトビア政府がドムブロウスキス上級副委員長を次期欧州委員会委員候補に指名したことを受けて、欧州議員の権利を放棄した。

◆欧州議会はズィーレ欧州議会副議長を再選

7月16日、欧州議会はズィーレ欧州議会副議長（「ナショナル・アライアンス」所属）を欧州議会副議長として再選した。

◆6月の政党支持率

7月6日、ラトビアテレビは、6月の世論調査結果を公表した。調査によると、前回第3位であった「新・統一」は第1位となり、第1位であった「ナショナル・アライアンス」は第2位となり、「ラトビア・ファースト」は第4位から第3位となった。6月の欧州議会選挙で議席を獲得した全政党の支持率が上昇した。

政党名（%、括弧内は前回の国会選挙の得票率）	支持率 （%、括弧内は 2024年4月の値）
「新・統一」（18.97）	10.9（7.2）
「緑と農民連合」（12.44）	5.3（7.6）
「統一リスト」（11.01）	5.1（5.0）
「ナショナル・アライアンス」（9.29）	9.9（8.1）
「安定のために」（6.80）	4.1（4.0）
「ラトビア・ファースト」（6.24）	7.3（6.6）
「進歩党」（6.16）	6.7（6.5）
「PLI」（4.97）	-（-）
「調和」（4.81）	6.1（5.8）
「プラットフォーム21」（3.67）	0.2（0.2）
「ラトビアのロシア連合」（3.63）	-（-）
「主権」（3.24）	2.2（2.6）
「保守党」（3.09）	1.5（1.6）
「Movement For」	1.1（1.4）

「ラトビアの発展のために」	2.4 (1.2)
「基礎LV」	0.9 (1.0)

(政党は上から 2022 年 10 月に実施された第 14 回国会選挙で獲得票数が多かった順)

◆ベラルーシに登録された車両はロシア及びベラルーシとの国境からの入国禁止

7月15日、EUの規制及び欧州委員会の説明を基に、制裁回避リスクを軽減するため、歳入庁は16日の0時1分よりベラルーシに登録された車両がラトビア・ロシア国境又はラトビア・ベラルーシ国境経由でEUに入域することを禁止すると発表した。

◆大規模・戦略的重要投資計画調整評議会開催

7月17日、大規模・戦略的重要投資計画調整評議会 (Coordination Council for Large and Strategically Significant Investment Projects) が開催され、ラトビア投資開発公社の総額 90 億ユーロ以上の投資計画に関して協議した。それらの計画は、森林資源のアベイラビリティ、ウィンドパーク及び二酸化炭素貯蔵庫等。

◆政府は 2025 年から 2036 年までの国軍開発計画を承認

7月23日、政府は国防省が策定した 2025 年から 2036 年までの国軍開発計画を承認した。同計画は、2027 年までに国防費を GDP の 3% に増加する予定としているが、防空システム購入及び東部国境強化等の追加予算により 2023 年時点で国防費はすでに GDP の 3% 以上となっている。

同計画では 6 つの主要開発優先事項として、①兵站支援強化、②対艦ミサイル・システム獲得、③防空システム獲得、④ HIMARS プラットフォームや自走砲システムの獲得を含む間接火力支援、⑤歩兵戦闘車両の獲得及び⑥無人航空機システムの開発をあげている。

◆ベラルーシとの国境のフェンス建設終了

7月31日、国家不動産会社はラトビア・ベラルーシ間の国境フェンスの建設が終了したと発表した。2023 年末までに陸上部分の国境フェンス (112 キロ) の建設は完成しており、今年 7 月までに公共水域のフェンスの建設が完成し、合計ほぼ 145 キロの国境フェンスが完了した。

— 経済 —

【今月の注目記事】

◆ラトヴェネルゴ社は新たなソーラーパークの稼働を開始

7月24日、ラトヴェネルゴ社は 600 万ユーロを投資してイエーカブピルス市ビルジに建設した新たなソーラーパークの稼働を開始した。同ソーラーパークは 11.7MW で、

年間 10,000MWh の電力を生産する予定。同社は創業 85 周年である本年中にラトビア全土で合計 100MW のソーラーパークを建設する予定。

◆2024年6月の消費者物価上昇率は1.4%

7月8日、中央統計局は、2024年6月の消費者物価上昇率が前年同月比1.4%、前月比ではマイナス0.1%となったと発表した。

◆2024年6月の失業率は5.1%

7月8日、国家雇用庁は2024年6月末の失業率は前月末比0.1%減の5.1%になったと発表した。

◆格付機関Fitch Ratingsはラトビアの格付を「A-」に据え置き

7月12日、格付機関Fitch Ratingsはラトビアの格付を「A-」に据え置き、見通しも「ポジティブ」に据え置いた。格付機関Fitch Ratingsはラトビア経済の強い点として、①政府債務の少なさ、②EU加盟国・ユーロ圏であることによる信頼できる経済政策、③民間部門の適度な債務等、弱い点として、④経済規模の小ささ、⑤一人当たりのGDPが格付けが「A」である他国より低いこと、⑥経常収支の赤字等を指摘した。

S&P グローバルによるラトビアの格付は「A」で見通しは「安定的」。Moody'sによるラトビアの格付けは「A3」で見通しは「安定的」。R&Iによるラトビアの格付けは「A」で見通しは「安定的」。

◆ラトビアガス社は自社株買い手続き開始

7月26日、ラトビアガス社は自社株買い手続きを開始した。この対象となるのは全体の18.75%を占める7,482,404株で1株当たりの買戻額は3.35ユーロ。同自社株買い手続きは8月7日に終了する。リエトゥム銀行は25,086,403ユーロを同手続きのために用意している。

◆2024年第2四半期のGDP成長率（暫定値）は前年同期比0.1%増

7月29日、中央統計局は、2024年第2四半期のGDP成長率（暫定値）は前年同期比で0.1%増（原数値）、前期比では1.1%減（季節調整値）であったと発表した。詳細データは8月30日に発表される予定。

— 外交 —

【今月の注目記事】

◆リンケービッチ大統領、ブラジェ外相及びスプルーズ国防相のNATOワシントン・サミット出席

7月9日～11日、リンケービッチ大統領、ブラジェ外相及びスプルーズ国防相はワシントンD.C. を訪問し、NATO ワシントン・サミットに出席した。

9日、リンケービッチ大統領はバイデン大統領及びストルテンベルグ NATO 事務総長が演説した NATO 設立 75 周年記念式典に出席した。

また同日、同じくワシントンD.C. を訪問中のミエリニャ国会議長は、NATO 加盟国国会議長会合に出席した。

◆ドローン・コアリション共同基金の設立

7月11日、国防省は、NATO ワシントン首脳会合の際に、ラトビアと英国が主導するドローン・コアリション参加国が共同基金設立に関する覚書に署名した旨を発表した。ラトビアは2024年、同事業に2000万ユーロを拠出し、ドローン技術を継続的に向上させるため、製造企業や軍にドローン試験施設を提供している。ドローン・コアリションには16カ国と各国の防衛産業が参加している対ウクライナ支援協力のためのオープンフォーマットである。

ドローン・コアリション参加国 16カ国：ラトビア、イギリス、カナダ、オーストラリア、チェコ、デンマーク、フランス、エストニア、ドイツ、イタリア、ニュージーランド、リトアニア、オランダ、ポーランド、ウクライナ、スウェーデン

◆ブラジェ外相のドイツ訪問

7月1日、ブラジェ外相はベアボック独外相と会談し、「両国の安全保障は不可分であり、防衛への貢献は経済や福祉への貢献でもある」と述べた。ドイツがリエルバルデで実施しているバルト海航空警備任務が、NATO の抑止力に大きく貢献していると強調。両国の国防への戦略的貢献は、革新的な製品、最新技術、軍需産業、開発無償資金協力事業等を通じ、経済にも貢献すると述べた。2024年のラトビアの国防予算はGDPの3.17%に達する見通しで、2026年までラトビアからウクライナへの軍事援助はGDPの0.25%となる予定。

◆リンケービッチ大統領のギリシャ訪問

7月2日～4日、リンケービッチ大統領はギリシャを訪問し、サケラロプル・ギリシャ大統領はじめ政府高官と会談した。同会談でリンケービッチ大統領は、ラトビアが主導するドローン・コアリションと NATO 戦略的コミュニケーションセンターへの参加を呼びかけた。

◆フランス国連総会議長のラトビア訪問

7月4日、ブラジェ外相は、ラトビアを訪問中のフランス国連総会議長と会談した。同会談でフランス議長は、ウクライナに対するラトビアの幅広い支援に謝意を表し、ロシアを含むすべての加盟国は、国連憲章を遵守する義務があると述べた。また、ブラジェ

外相は国連の側からもウクライナにあらゆる支援を提供すべきだと強調した。

◆ブラジェ外相はエストニア外相と言語賞を授与

7月5日、ブラジェ外相は、ラトビアを訪問中のツァフクナ・エストニア外相と共に、「ラトビア・エストニア言語賞」を授与した。今年で15回目となる同賞は、タルトゥ大学教授で言語学者・詩人のカール・パジュサル氏に贈られた。パジュサル氏は、現在は消滅したリヴォニア語唯一の詩人で、同氏の詩は、ラトビア語とエストニア語に翻訳されている。

◆リンケービッチ大統領はカナダで開催の歌と踊りの祭典に出席

7月6日、リンケービッチ大統領は、カナダで開催された第16回歌と踊りの祭典に出席した。参加者への挨拶で同大統領は、「ラトビアの歴史を振り返り、歌こそがソビエトの占領時代にもラトビアらしさを維持し、独立を勝ち取るのに役立ったのがわかる。カナダはかつて亡命した何千ものラトビア人を受け入れ、現在もカナダ軍が、バルト三国とヨーロッパ全体の安全と独立を守ってくれている。来週開催されるNATO首脳会合では、ラトビアが80年以上も前に経験したような時代が二度とないように、何をすべきか協議される。」と述べ、祭典を祝った。

◆ブラジェ外相は国連人権理事会への声明を発表

7月9日、ブラジェ外相は国連人権理事会に対し、バルト三国及び北欧諸国の代表として、ロシアの行った重大な人権侵害及び国際人道法違反を強調した声明を発表した。同外相はロシアがジャーナリストの告発、政治的意思による拘束、拷問、ウクライナ児童の違法な誘拐及び性犯罪等の武器化等を行っており、ロシアはこれらの国際的な人権侵害について全責任を負っていると述べた。

◆ラトビア・スリランカ二国間協議開催

7月10日、スリランカのコロomboで、ラトビアとスリランカの二国間協議が初めて開催された。ラトビア代表団のプラーテレ外務省二国間関係局長とグナケセラ・スリランカ外務省事務次官は、相互の関心分野における二国間の法的枠組みを発展させる必要性を強調した。経済協力の有望な分野として、情報通信技術、薬学、高等教育、両国の企業の交流強化が挙げられた。また、国際機関における協力についても協議された。

◆ブラジェ外相のウクライナ代表団との面談

7月16日、ブラジェ外相は、ウクライナ開発協力事業「Commonwealth Bridge Riga-Nizina」の関係者と会談した。この会談で同外相は、「ウクライナはラトビアの開発協力の最優先事項であり、2024年に承認された開発事業の約半数はウクライナ関連である。ウクライナへの開発協力では特にチェルニヒウ地方への支援が注目されている。」と述べた。

◆ブラジェ外相の量子技術開発に関する覚書に署名

7月18日、ブラジェ外相は、ラトビアにおける量子技術開発に関する覚書に署名した。この署名により、外務省を含む13機関が参加することになった。同覚書には、量子技術分野におけるラトビアの国際競争力の促進のため、能力とイノベーションの開発や年数回の合同会議の開催等の内容が盛り込まれた。2025年末には、ラトビアの公共機関、企業、個人を対象にした安全な量子ネットワークサービスが利用可能になる見込み。

◆ブラジェ外相の東部国境地域を訪問

7月19日-20日、ブラジェ外相は、ラトビア、EU、NATOの東部国境地域であるラトガレを2日間にわたり訪問した。国境管理所と税関を視察した後同外相は、EUの安全保障の第一線で東部国境地域を守り、対ロシア、対ベラルーシ制裁の実施を確実にしている関係者の日頃の働きを高く評価した。また同外相は、この訪問中にBaltic Bullets社の製産工場も視察した。同社は2021年からウクライナと共同で弾薬を製造している。

◆ブラジェ外相のEU外務理事会出席

7月22日、ブラジェ外相はEU外務理事会で、「ウクライナのニーズに基づき、EUが共同で軍事支援を速やかに行うことが現在最も重要であり、ウクライナの勝利がEU加盟国と同盟国の安全保障に密接に関係している。」と述べ、ウクライナの戦闘能力構築を支援するために、ドローン・コアリションに参加するよう未参加のEU加盟国に呼びかけた。

◆ラトビアと米国はデジタル変革推進に関する覚書に調印

7月25日、セルガ・駐米ラトビア大使とマッキー・米国国際開発庁（USAID）欧州・ユーラシア副長官が、ラトビアと米国がパートナー国においてデジタル変革の推進を共に行う旨の覚書に署名した。この覚書の目的は、EUの東方パートナー諸国、中央アジア、アフリカ諸国に対し、デジタル化問題での支援を提供することにより、国際開発協力事業におけるラトビアの知名度を高め、米国との緊密な協力を促進することである。これまでのラトビアとUSAIDとの協力は、モルドバ、ウクライナ、ウズベキスタンで行われてきた。

◆ブラジェ外相はカリフォルニア州代表団を歓迎

7月25日—28日の3日間、カリフォルニア州の政府高官と企業家の代表団がラトビアを訪問し、ブラジェ外相らと会談した。この訪問の目的は、ラトビアの経済や投資機会を探るもの。同会談でブラジェ外相は、ラトビアのIT、高付加価値のデジタル・ソリューション、5Gサービスの分野におけるラトビアの実績について説明した。また、ドンブロウスキス・欧州委員会副委員長もオンラインで参加し、ラトビアとEUが米国企業に提供できる投資機会と米国がEUにとって最大かつ最も重要な貿易相手国であることを強調した。

◆リンケービッチ大統領のルクセンブルク外相との会談

7月30日、リンケービッチ大統領は、ラトビアを公式訪問中のベッテル・ルクセンブルク外相とリガ宮殿で会談した。この会談で同大統領は、バルト三国とベネルクス三国（ベルギー、オランダ、ルクセンブルク）との関係や、今年5月1日に高等教育修了証書の国家間承認に関する協定が発効したことに満足感を示した。

◆ブラジェ外相はジューリッチ・セルビア外相と会談

7月31日、ブラジェ外相は、ラトビアを訪問中のジューリッチ・セルビア外相とリガで会談した。この会談では、セルビアのEU加盟への道筋と加盟プロセスの具体的な計画、西バルカン諸国の動向、ウクライナへの支援が主要議題として協議された。

— その他 —

【今月の注目記事】

◆リガで月間降水量の145%の大雨

ラトビア環境・地質・気象センターはリガの7月29日の24時間の降水量は115ミリに達し、これは7月の標準降水量の145%であったと発表した。過去に記録されたりガの24時間の最大降水量は2017年9月及び2010年7月の約55ミリであった。

この大暴風雨により、リガ森林公社が管理する木だけで約350本が折れる被害があり、同社によると今回の大暴風雨による被害は、過去20年間にリガ近郊で起きたものとしては最大であった。

◆ラトビアから合計29名が14競技・種目でパリ・オリンピックに参加

7月8日、ラトビア・オリンピック委員会はラトビアから合計29名が14競技・種目（3x3バスケットボール、陸上競技、近代五種競技、水泳、ダイビング、ロードサイクリング、自転車マウンテンバイク、BMXレーシング、BMXフリースタイル、ビーチバレー、テニス、馬術、射撃及び重量挙げ）でパリ・オリンピックに参加すると発表した。

◆2023年のラトビアの平均寿命は75.5歳

7月11日、中央統計局によると、2023年のラトビア人の平均寿命は前年より1.1歳延びて75.5歳（女性80.4歳、男性70.4歳）となった。平均寿命は、この100年間で22.4歳延び、1991年の独立回復から6.0歳延びた。

◆第39回宝塚国際室内合唱コンクールでラトビアの合唱団「Balsis」が優勝

7月19日～31日、ユース合唱団「Balsis」はコンサートツアーで初めて日本を訪問し、20日、第39回宝塚国際室内合唱コンクールで優勝した。同コンクールには世界から合計27の室内合唱団が参加した。

（了）

2024年7月の主な出来事

	【内政】	【外交】
1月	12日、ドムブロウスキス欧州委員会執行副委員長は欧州議員の権利を放棄	1日、ブラジェ外相のドイツ訪問 2日、リンケービッチ大統領のギリシャ訪問 4日、フランス国連総会議長のラトビア訪問 5日、ブラジェ外相はエストニア外相と言語賞を授与 6日、リンケービッチ大統領はカナダで開催の歌と踊りの祭典に出席
	15日、ベラルーシに登録された車両はロシア及びベラルーシとの国境からの入国禁止	9日、ブラジェ外相は国連人権理事会への声明を発表
	16日、欧州議会はズイーレ欧州議会副議長を再選	9日、リンケービッチ大統領、ブラジェ外相及びビブルズ国防相のNATOワシントン・サミット出席
	17日、大規模・戦略的重要投資計画調整評議会開催	10日、ラトビア・スリランカ二国間協議開催 11日、ドローン・コアリション共同基金の設立 16日、ブラジェ外相のウクライナ代表団との面談 18日、ブラジェ外相の量子技術開発に関する覚書署名
	23日、政府は2025年から2036年までの国軍開発計画を承認	19日、ブラジェ外相の東部国境地域訪問 22日、ブラジェ外相のEU外務理事会出席 25日、ラトビアと米国はデジタル変革推進に関する覚書に調印 25日、ブラジェ外相はカリフォルニア州代表団を歓迎
		30日、リンケービッチ大統領のルクセンブルク外相との会談 31日、ブラジェ外相はジューリッチ・セルビア外相と会談
	31日、ベラルーシとの国境のフェンス建設終了	

ラトビア主要経済指標

GDP

	単位	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 Q1	2024 Q2	出典
名目GDP	百万ユーロ	29,154	30,573	30,109	33,349	38,386	40,348	9,335	-	公式統計ポータル
国民一人当たりGDP	ユーロ	15,135	15,980	15,840	17,710	20,351	21,444	-	-	公式統計ポータル
GDP実質成長率(※)	%	4.0	0.6	▲ 3.5	6.7	3.0	▲ 0.3	0.1	0.1(※1)	公式統計ポータル
国民一人当たりGDP/EU平均	%	69	69	72	71	72	71	-	-	EU統計局

(※)前年同期比(原数値)、(※1)暫定値

財政収支, 政府債務残高

	単位	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 Q1	2024 Q2	出典
財政収支	百万ユーロ	▲ 217	▲ 149	▲ 1,319	▲ 2,396	▲ 1,779	▲ 893	41	-	公式統計ポータル
財政収支対名目GDP比	%	▲ 0.7	▲ 0.5	▲ 4.4	▲ 7.2	▲ 4.6	▲ 2.2	-	-	公式統計ポータル
政府債務残高	百万ユーロ	10,784	11,209	12,869	14,809	16,039	17,581	18,043	-	公式統計ポータル
政府債務対名目GDP比	%	37.0	36.7	42.7	44.4	41.8	43.6	-	-	公式統計ポータル

失業率, 消費者物価上昇率, 月額平均賃金

	単位	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 Q1	2024 Q2	出典
失業率	%	7.4	6.3	8.1	7.6	6.9	6.5	7.2	-	公式統計ポータル
消費者物価上昇率	%	2.5	2.8	0.2	3.3	17.3	8.9	0.7	0.9	公式統計ポータル
平均賃金(グロス)	ユーロ	1,004	1,076	1,143	1,277	1,373	1,537	1,623	-	公式統計ポータル
平均賃金(ネット)	ユーロ	742	793	841	939	1,006	1,119	1,180	-	公式統計ポータル
最低賃金(月額, グロス)	ユーロ	430	430	430	500	500	620	700	700	公式統計ポータル

対内直接投資(FDI)

	単位	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 Q1	2024 Q2	出典
海外直接投資残高	百万ユーロ	15,334	16,050	16,799	21,196	22,564	24,476	25,060	-	中央銀行

貿易統計

	単位	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 Q1	2024 Q2	出典
輸出(FOB)	百万ユーロ	12,773	12,966	13,305	16,452	21,334	19,047	4,754	-	公式統計ポータル
輸入(CIF)	百万ユーロ	15,793	15,914	15,159	19,519	26,496	23,412	5,166	-	公式統計ポータル
貿易収支	百万ユーロ	▲ 3,020	▲ 2,948	▲ 1,854	▲ 3,067	▲ 5,162	▲ 4,365	▲ 412	-	公式統計ポータル

日・ラトビア貿易(ラトビア政府統計)

	単位	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 Q1	2024 Q2	出典
日本への輸出	千ユーロ	53,343	56,637	50,099	76,889	84,296	56,754	17,948	-	公式統計ポータル
日本からの輸入	千ユーロ	25,668	27,999	21,738	24,490	26,795	23,770	6,070	-	公式統計ポータル
対日貿易収支	千ユーロ	27,675	28,638	28,361	52,399	57,501	32,984	11,878	-	公式統計ポータル

日・ラトビア貿易(日本政府統計)

	単位	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 Q1	2024 Q2	出典
ラトビアへの輸出	百万円	7,325	5,794	4,459	5,809	4,343	4,302	1,142	1,259	財務省統計
ラトビアからの輸入	百万円	8,847	8,868	8,650	10,088	16,770	10,559	2,979	3,048	財務省統計
対ラトビア貿易収支	百万円	▲ 1,522	▲ 3,074	▲ 4,191	▲ 4,279	▲ 12,427	▲ 6,257	▲ 1,837	▲ 1,789	財務省統計

両国間の訪問者数

	単位	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 Q1	2024 Q2	出典
ラトビア→日本	人	2,551	2,701	393	197	631	2,567	873	-	日本政府観光局
日本→ラトビア(宿泊統計)	人	29,534	20,416	2,358	396	1,229	3,166	590	-	公式統計ポータル

(注)ラトビアは2014年1月1日ユーロを導入した。2024年7月末現在、1ユーロ=165円程度。

(2024年8月2日まで公表分のデータ)